

# 「自分が納得のいく演奏ができるうちにリタイアしたい」と明言・・・ 日本でその演奏姿を拝めるのはあと何回あるだろうか？

驚異的なレパートリー！

演奏に込められた膨大な情報量！！

達観した世界に遊ぶ、他に類を見ないモーツァルト！！！！

## アレクセイ・リュビモフ

Alexei Lubimov, Piano

アレクセイ・リュビモフは、世界的なピアニスト、チェンバロ奏者である。スピヤトスラフ・リヒテル亡き後、ロシアの古典から現代音楽まで幅広く演奏することのできる最後の巨匠と言っても過言ではない。モスクワ音楽院で伝説の名教師ゲンリフ・ネイガウスとレフ・ナウモフに師事。モーツァルトのピアノ・ソナタ全集やショパンのバラード全曲録音を行なった。

現代音楽の演奏も積極的に行っており、シェーンベルクやシュトックハウゼン、ブーレーズ、リゲティなどのソ連初演を数多く行なっている。このため当時のソ連政府より警戒され、1970年代以降の活動は制限されることとなった。しかしその間も、ソ連でモスクワ・バロック・カルテットを結成し、当時ヨーロッパでブームを巻き起こしつつあった「歴史的な楽器による演奏」をモスクワや国内の聴衆にいち早く紹介している。

ソ連崩壊が近づくと徐々に制限がなくなってゆくと、ウィーン楽友協会、ザルツブルク音楽祭への出演をはじめ、世界の主要なホールや音楽祭に再び出演するようになった。そして1988年にはモスクワでアヴァンギャルド音楽祭「オルテルナティーヴァ」を設立するなど、極めて広範な活動を繰り広げている。これまでにイスラエル・フィル、ロサンゼルス・フィル、ミュンヘン・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、ベルリン・ドイツ響、BBC響など、世界を代表するオーケストラと数え切れない回数共演してきた。

共演してきた指揮者にはアッシュケナージ、ネーメ・ヤルヴィ、ホグウッド、ブリュッヘン、ケント・ナガノなど世界で最も重要な名前の数々を含んでいる。ロンドンを代表する古楽オーケストラのひとつエイジ・オブ・エンライトウメント管弦楽団などの古楽器アンサンブルとは歴史的ピアノを用いての共演をしているほか、室内楽奏者としてアンドレアス・シュタイアーやナターリア・ゲートマン、ペーター・シュライアー、ハインリヒ・シフ、クリスティアン・テツラフ、ゴドン・クレーメル、イワン・モニゲッティ、ヴィーラント・クイケンらの世界的な演奏家のパートナーを長年勤めている。

また今年は、長年の際立った業績により、記念すべき第1回目となる「ピリオド楽器によるショパン国際コンクール」審査員の重責を担った。



宗次ホールの情報はこちら！  
フォローお待ちしております

♪ 随時  
更新中です

facebook

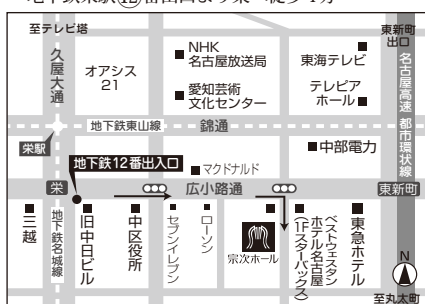


<https://www.facebook.com/munetsuguhall/>



他にも各SNSにて情報発信中！

交通アクセス  
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業